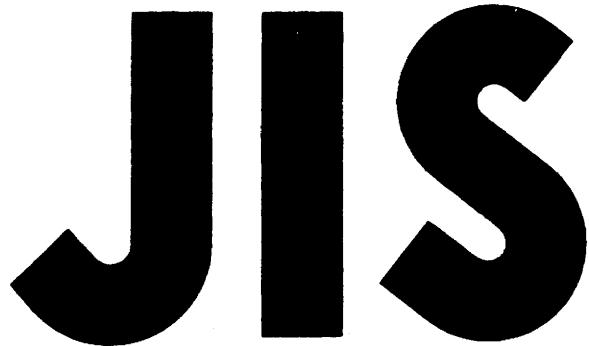


UDC 697 : 662.75 : 662.76



A 4003

## 温 風 暖 房 機

JIS A 4003<sup>-1995</sup>

(2001 確認)

(2006 確認)

平成 7 年 11 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

---

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 45.5.1 改正：平成 7.11.1

官報公示：平成 7.11.1

原案作成協力者：日本暖房機器工業会

審議部会：日本工業標準調査会 建築部会（部会長 岸谷 孝一）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料規格課（〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 温 風 暖 房 機

A 4003-1995

Warm air furnaces

**1. 適用範囲** この規格は、主として暖房に用いる灯油、重油、都市ガス又は液化石油ガスを燃料とする定格暖房能力 $18.6 \text{ kW}$ { $16\,000 \text{ kcal/h}$ }以上の温風暖房機について規定する。ただし、JIS S 2039及びJIS S 2122を除く。

**備考1.** この規格の引用規格を、付表1に示す。

2. この規格の中で{ }を付けて示してある単位及び数値は、従来単位によるものであって、参考として併記したものである。

**2. 用語の定義** この規格で用いる主な用語の定義は、JIS B 0113及びJIS S 2091によるほか、次のとおりとする。

- (1) 煙道 温風暖房機内で、熱交換器から排気筒又は煙突へ燃焼排ガスを導く通路。
- (2) 煙突 燃焼排ガスを屋外へ排出する通路であって、立ち上がりがあり、ドラフト効果が期待できるもの。
- (3) 不着火 着火動作において火がつかないこと。
- (4) 結露 冷たいものの表面に触れた空気又は燃焼ガスの温度が下がり、その部分の湿度が $100\%$ となったとき水蒸気が凝結して水滴となる状態。

**3. 種類及び記号** 温風暖房機は、形式及び使用燃料によって区分し、その種類及び記号は、次による。

**3.1 形式による区分** 形式による区分は、表1のとおりとする。

表1 形式による区分

形式	記号	参考
直接吹出形 暖房する部屋に設置し、温風を直接室内に吹き出す形式で、温風用送風機は本体に組み込まれているもの。	P	付図1
ダクト接続 送風機組込形 温風をダクトによって暖房する部屋に送る形式で、温風用送風機は本体に組み込まれているもの。	D	付図2
ダクト接続 送風機別置形 温風をダクトによって暖房する部屋に送る形式で、温風用送風機は本体に組み込みらず別置としたもの。	S	付図3

**3.2 使用燃料による区分** 使用燃料による区分は、表2のとおりとする。

表2 使用燃料による区分

使用燃料	記号
灯油 JIS K 2203に規定する1号	K
重油 JIS K 2205に規定する1種	A
	B
	C
ガス 都市ガス	TG
液化石油ガス JIS K 2240に規定する1種1号	LPG1
	LPG2
	LPG3